

iFree レバレッジ S & P 500

運用報告書(全体版) 第 1 期

(決算日 2019年 8 月30日)

(作成対象期間 2018年 8 月31日～2019年 8 月30日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）		
信託期間	無期限		
運用方針	日々の基準価額の値動きが S & P 500 指数（米ドルベース）の値動きの 2 倍程度となることをめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	米国の株価指数先物取引、米国の債券、わが国の債券およびダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券。なお、米国の金融商品取引所上場株式および E T F（上場投資信託証券）に投資する場合があります。	
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日々の基準価額の値動きが S & P 500 指数（米ドルベース）の値動きの 2 倍程度となることをめざしてあります。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の 9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P 500指数 (米ドルベース)		株式組入 比 率	株式先物 比 率	公 社 債 組入比率	債券先物 比 率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率						
	円	円	%		%	%	%	%	%	%	百万円
1 期末 (2019年 8月30日)	9,751	0	△ 2.5	10,081	0.8	—	198.9	41.5	—	—	383

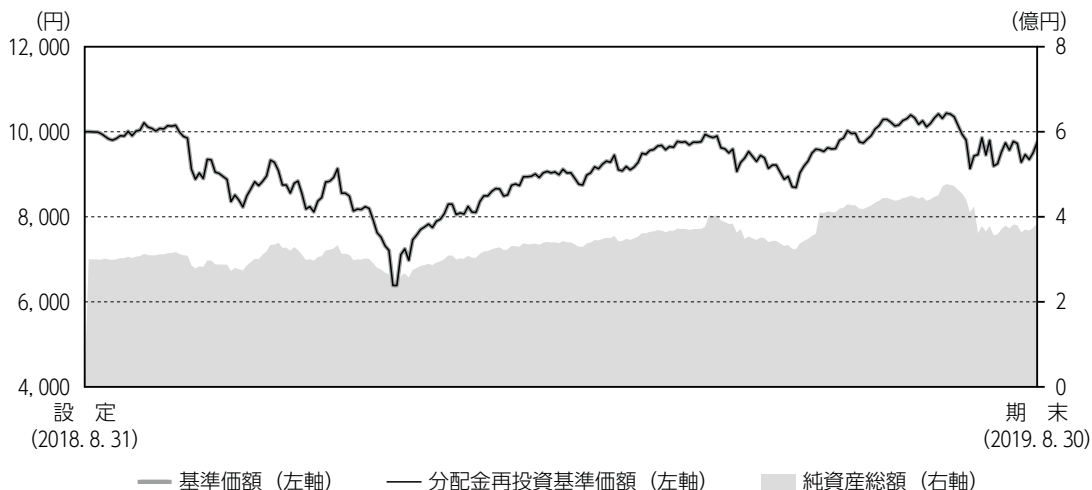
- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 先物比率は買建比率－売建比率です。
- (注 7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

S & P 500 (以下「当インデックス」といいます。) は、S & P Global の一部門である S & P Dow Jones Indices LLC (「SPDJ」) の商品であり、これを利用するライセンスが大和証券投資信託委託株式会社に付与されています。Standard & Poor's® および S & P® は、S & P Global の一部門である Standard & Poor's Financial Services LLC (「S & P」) の登録商標で、Dow Jones® は Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスが SPDJI に、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが大和証券投資信託委託株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S & P またはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期 末：9,751円（分配金0円）

騰落率：△2.5%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

日々の基準価額の値動きがS & P 500指数（米ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざした運用を行った結果、米国株式は当作成期を通じて上昇基調でしたが、上昇・下落をしながら推移したことや、実質的なコスト（売買や為替ヘッジに伴うもの）などによって当ファンドの基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

決 算 期	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率					
(期首) 2018年 8 月31日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	% —	% —	% —	% —
8 月末	10,001	0.0	10,000	0.0	—	—	—	—	—
9 月末	10,078	0.8	10,044	0.4	—	201.9	36.3	—	—
10月末	8,493 △	15.1	9,247 △	7.5	—	202.3	39.5	—	—
11月末	8,835 △	11.7	9,437 △	5.6	—	198.1	52.5	—	—
12月末	7,246 △	27.5	8,579 △	14.2	—	197.1	62.1	—	—
2019年 1 月末	8,359 △	16.4	9,241 △	7.6	—	200.6	52.0	—	—
2 月末	9,056 △	9.4	9,625 △	3.7	—	200.4	48.7	—	—
3 月末	9,171 △	8.3	9,705 △	3.0	—	201.8	47.5	—	—
4 月末	9,863 △	1.4	10,086	0.9	—	199.5	41.6	—	—
5 月末	8,951 △	10.5	9,613 △	3.9	—	201.0	48.9	—	—
6 月末	9,827 △	1.7	10,082	0.8	—	198.2	38.1	—	—
7 月末	10,351	3.5	10,386	3.9	—	200.9	34.4	—	—
(期末) 2019年 8 月30日	9,751 △	2.5	10,081	0.8	—	198.9	41.5	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 8. 31 ~ 2019. 8. 30)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、設定時からしばらくは米中貿易協議の進展をにらんでボックス圏の推移となりましたが、2018年10月に入ると、米国の金利が急上昇したことや、米中貿易摩擦を受けてIMF（国際通貨基金）が世界成長予測を下方修正したことが悪材料となり、下落しました。12月には、中国大手通信機器メーカーの幹部拘束による米中対立の激化やF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げ継続姿勢に対する投資家懸念の高まりなどにより、米国株式市況は一段安となりました。しかし12月末からは、米中貿易協議の再開報道やF R Bが柔軟な姿勢に転じたことで市場に安心感が広がり、米国株式市場は急反発しました。その後も米国の経済指標が堅調だったことなどから、2019年4月までは堅調な展開となりました。5月には、トランプ大統領による関税率引き上げ発言などから再び米中貿易摩擦の激化が嫌気され調整しましたが、6月に入ると米国の利下げ期待の高まりと、G20（主要20か国・地域）サミットに向けて米中貿易摩擦が一時休戦の形になったことが好感されて、米国株式市況は再び上昇しました。7月下旬からは、トランプ大統領が中国に対してさらなる追加関税を決定するなど、米中貿易摩擦の長期化も懸念材料となったことで上値が重い展開となって当作成期末を迎えました。

ポートフォリオについて

(2018. 8. 31 ~ 2019. 8. 30)

■当ファンド

米国の株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、純資産総額の2倍程度となるよう調整しました。また、米国の短期国債（T-BILL）およびダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券への投資も行いました。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

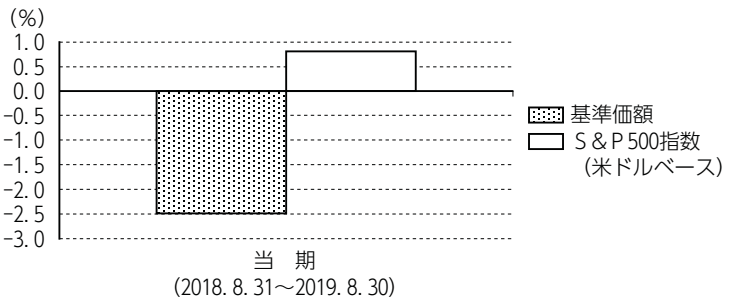
米国の株価指数先物取引については、E-mini S & P 500株価指数先物取引を利用しました。米国の株式への直接投資は行っておりません。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2018年 8 月31日 ～2019年 8 月30日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	51

(注 1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注 2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
(注 3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主として、米国の債券、わが国の債券およびダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券に投資するとともに、株式の組入総額と株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、原則として、信託財産の純資産総額の2倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがS & P 500 指数（米ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざします。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 8. 31～2019. 8. 30)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	89円	0.972%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,181円です。
(投 信 会 社)	(43)	(0.470)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0.470)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0.032)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0.034	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(3)	(0.034)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.030	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.012)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	95	1.037	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

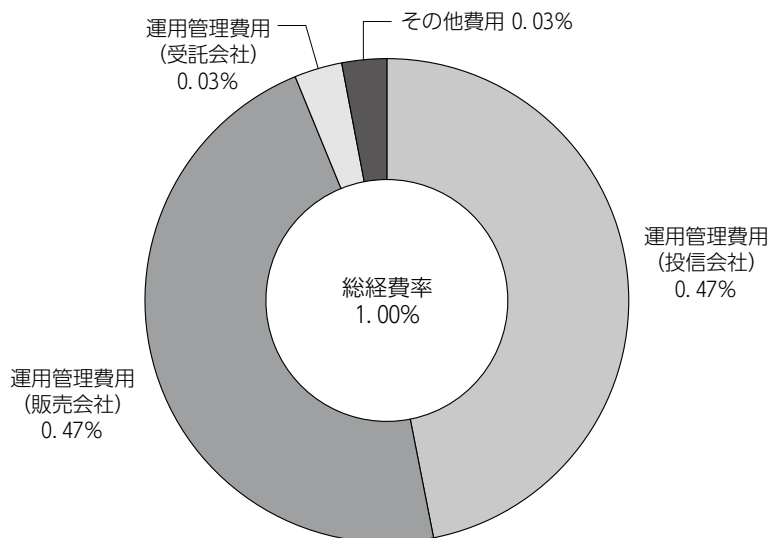
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.00%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2018年 8 月31日から2019年 8 月30日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国 債 証 券	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
			6, 461	4, 497 (500)

(注 1) 金額は受渡し代金 (経過利子分は含まれておりません)。
(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年 8 月31日から2019年 8 月30日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	9, 976	10, 000	8, 980	9, 000

(注) 単位未満は切捨て。

■先物・オプション取引状況等

先物取引の銘柄別取引・残高状況

(2018年 8 月31日から2019年 8 月30日まで)

銘 柄 別			買 建		売 建		当 期 未 評 価 額		
			新 規 買付額	決済額	新 規 売付額	決済額	買建額	売建額	評価損益
外 国	株 式	S&P500 EMINI FUT (アメリカ)	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
			4, 013	3, 203	—	—	763	—	3

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年 8 月31日から2019年 8 月30日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘 柄		金 額		銘 柄		金 額	
		千円				千円	
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2018/10/25	56, 628		U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2018/10/25	56, 606	
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2018/11/29	56, 509		U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2019/4/25	55, 888	
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2019/2/28	56, 353		U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2019/3/28	55, 458	
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2019/3/28	56, 305		U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2019/2/28	55, 406	
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2019/1/31	56, 255		U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2019/5/30	54, 648	
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2019/7/25	55, 554		U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2019/1/31	54, 451	
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2019/6/27	55, 124		U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2019/7/25	54, 311	
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2019/5/30	55, 071		U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2019/6/27	53, 877	
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2019/8/29	54, 330		U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2019/8/29	53, 208	
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2019/4/25	54, 151					

(注 1) 金額は受渡し代金 (経過利子分は含まれておりません)。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年8月31日から2019年8月30日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B / A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D / C
区 分						
公社債	百万円 250	百万円 250	% 100.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	13,063,880	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■投信会社による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	当作成期末 保有額	取 引 の 理 由
百万円 300	百万円 —	百万円 —	百万円 300	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

作 成 期	当 期							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5 年以上	2 年以上	2 年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 1,500	千アメリカ・ドル 1,495	千円 159,184	% 41.5	% —	% —	% —	% 41.5

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
アメリカ		U. S. TREASURY BILL	国債証券	—	千アメリカ・ドル 500	千アメリカ・ドル 499	千円 53,146	2019/09/26
		U. S. TREASURY BILL	国債証券	—	500	498	53,047	2019/10/31
		U. S. TREASURY BILL	国債証券	—	500	497	52,991	2019/11/29
合 計	銘柄数 金 額	3銘柄			1,500	1,495	159,184	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(3)親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口	千円
	995	997

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年 8 月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円	%
	159, 184	40. 9
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	997	0. 3
コール・ローン等、その他	228, 633	58. 8
投資信託財産総額	388, 815	100. 0

- (注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
- (注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝106.46円です。
- (注 3) 当期末における外貨建純資産（308,363千円）の投資信託財産総額（388,815千円）に対する比率は、79.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年 8 月30日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	800,486,371円
コール・ローン等	70,828,812
公社債（評価額）	159,184,729
ダイワ・マネースtock・マザーファンド（評価額）	997,506
未収入金	319,921,079
差入委託証拠金	249,554,245
(B)負債	416,705,429
未払金	308,187,600
未払解約金	170,215
未払信託報酬	1,877,283
差入委託証拠金代用有価証券	106,460,000
その他未払費用	10,331
(C)純資産総額（A－B）	383,780,942
元本	393,589,384
次期繰越損益金	△ 9,808,442
(D)受益権総口数	393,589,384口
1万口当り基準価額（C／D）	9,751円

- * 期首における元本額は300,000,000円、当作成期間中における追加設定元本額は267,436,996円、同解約元本額は173,847,612円です。
- * 当期末の計算口数当りの純資産額は9,751円です。
- * 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は9,808,442円です。

■損益の状況

当期 自2018年 8 月31日 至2019年 8 月30日

項 目	当 期
(A)配当等収益	4,897,741円
受取利息	2,984,582
その他収益金	1,958,035
支払利息	△ 44,876
(B)有価証券売買損益	6,722,646
売買益	17,905,027
売買損	△ 24,627,673
(C)先物取引等損益	6,236,197
取引益	69,321,430
取引損	△ 63,085,233
(D)信託報酬等	△ 3,440,807
(E)当期損益金（A＋B＋C＋D）	970,485
(F)追加信託差損益金（配当等相当額）	△ 10,778,927
（売買損益相当額）	（ 570,441）
(G)合計（E＋F）	△ 11,349,368
次期繰越損益金（G）	△ 9,808,442
追加信託差損益金（配当等相当額）	△ 10,778,927
（売買損益相当額）	（ 570,441）
分配準備積立金	△ 11,349,368
繰越損益金	1,456,934
	△ 486,449

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注 4) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：351,182円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a)経費控除後の配当等収益	1,456,934円
(b)経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c)収益調整金	570,441
(d)分配準備積立金	0
(e)当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	2,027,375
(f)分配金	0
(g)翌期繰越分配対象額（e－f）	2,027,375
(h)受益権総口数	393,589,384口

＜補足情報＞

当ファンド（iFree レバレッジ S & P 500）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2019年 8 月30日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を12ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2018年 8 月31日から2019年 8 月30日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
801 国庫短期証券 2019/3/18	千円 250,003		千円

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2019年 8 月30日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第9期（決算日 2018年12月10日）

（作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

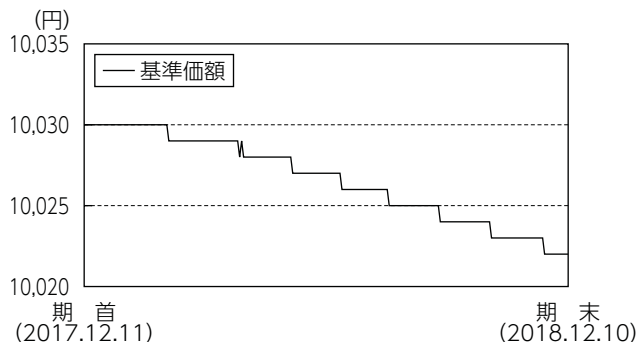
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債比率
	騰落率	比率	
(期首)2017年12月11日	円 10,030	% -	% -
12月末	10,030	0.0	-
2018年1月末	10,030	0.0	-
2月末	10,029	△0.0	0.5
3月末	10,029	△0.0	-
4月末	10,028	△0.0	-
5月末	10,027	△0.0	-
6月末	10,026	△0.0	-
7月末	10,025	△0.0	-
8月末	10,025	△0.0	-
9月末	10,024	△0.1	-
10月末	10,023	△0.1	-
11月末	10,022	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,022	△0.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,030円 期末：10,022円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	4 (4)
合 計	4

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 570,003	千円 - (570,000)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当 期		期 間	
買 付	売 付	買 付	売 付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
723 国庫短期証券 2018/3/5	千円 220,001		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	200,001		
731 国庫短期証券 2018/7/10	150,000		

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 41,081,960	% 100.0
投資信託財産総額	41,081,960	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	41,081,960,031円
コール・ローン等	41,081,960,031
(B) 負債	22,652,366
未払解約金	20,000,000
その他未払費用	2,652,366
(C) 純資産総額(A－B)	41,059,307,665
元本	40,969,233,796
次期繰越損益金	90,073,869
(D) 受益権総口数	40,969,233,796口
1万口当り基準価額(C／D)	10,022円

* 期首における元本額は30,015,878,475円、当作成期間中における追加設定元本額は79,229,641,363円、同解約元本額は68,276,286,042円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保貸付債権ファンド(為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保貸付債権ファンド(為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレアセット・インド株式ファンド-インドの匠-29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S 短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、U S 短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,994円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック(為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 9,976,058円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス6,480,317,774円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス3,588,745,910円、ダイワ上場投信-TOPIXレバレッジ(2倍) 指数1,873,252,277円、ダイワ上場投信-TOPIXダブルインバース(-2倍) 指数602,505,046円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス3,957,907,355円、ダイワ上場投信-TOPIXインバース(-1倍) 指数3,685,167,742円、ダイワ上場投信-JPX日経400レバレッジ・インデックス323,527,433円、ダイワ上場投信-JPX日経400インバース・インデックス2,008,932,965円、ダイワ上場投信-JPX日経400ダブルインバース・インデックス208,181,200円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ日本株式ベア・ファン

ド(適格機関投資家専用) 3,619,070,901円、低リスク型アロケーションファンド(金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 199,401,795円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L トレード - 56,086,003円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の植音(つちおと) - 5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ168,192,739円、ダイワ・アセア内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ151,817,656円、低リスク型アロケーションファンド(適格機関投資家専用) 13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 588ドル・コース(毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 494,581円、ダイワU S 短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - 100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,022円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 21,014,406円
受取利息	30,196
支払利息	△ 21,044,602
(B) 有価証券売買損益	△ 2
売買損	△ 2
(C) その他費用	△ 16,468,861
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 37,483,269
(E) 前期繰越損益金	91,400,424
(F) 解約差損益金	△184,462,233
(G) 追加信託差損益金	220,618,947
(H) 合計(D + E + F + G)	90,073,869
次期繰越損益金(H)	90,073,869

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。